

WE WILL

第16期 中間期のご報告
2020年4月1日 2020年9月30日

vol.07 証券コード4188

 株式会社 三菱ケミカルホールディングス

株主の皆様へ



事業環境が劇的に変化する中、長期的視点に立った経営を実践し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

2021年3月期上半期の概要について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。
 当上半期(2020年4月1日~9月30日)における当社グループの事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、自動車用途を中心に需要が低調に推移し、足元で持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いています。当上半期の連結業績につきましては下段に記載の「連結業績の概要」をご覧ください。また、当期の中間配当金につきましては、1株につき12円とさせていただきます。

医療進化と健康

先進国共通の課題として、高齢化による労働人口の減少と社会保障財政の逼迫が挙げられます。その解決に向けて、従来の疾病治療だけでなく、日々のヘルスケアをベースにした予防医療に重点を置くことが強く求められています。
 当社グループの田辺三菱製薬(株)は、高齢化社会において特にニーズの高い中枢神経系疾患、免疫系疾患、糖尿病などを主要領域として医薬品事業を展開しており、

病院を核としたこれら疾病の治療ネットワークと、現在開発が盛んなPHR(Personal Health Record)を基盤とした予防医療や健康増進サービスなどを有機的に接続することができれば、健康寿命の延伸に大いに役立ちます。また、三菱ケミカル(株)が提供する人工関節などの各種メディカル材料や医療機器用部材は、医療の世界に新しいソリューションを提供し、日本酸素ホールディングスグループの医療用ガス、安定同位体は医薬品、診断薬の創製に貢献するものと考えています。さらに、(株)生命科学インスティテュートが手掛けるMuse細胞による再生医療は、まだ治験段階ではあるものの、脳梗塞などの重篤な疾病の治療に大きな効果をもたらすことが期待されています。当社グループは、グループ各社が持つ技術やビジネス領域を組み合わせ、健康増進、予防医療、疾病治療、再生医療といった総合的なヘルスケアビジネスへの取組みをさらに強化していきます。

新型コロナウイルス感染症の流行により、医療進化や健康に関わる取組みへの期待はさらに高まっています。当社グループがこれらの期待にどのように応えることができるのか。その取組みの一部を裏面の特集ページでご紹介します。「こんなところで人々の健康に貢献 三菱ケミカルホールディングスグループ」。是非、ご覧ください。

代表執行役社長
越智 仁

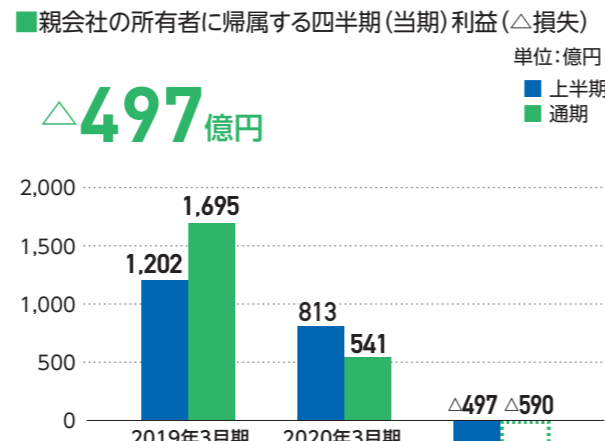
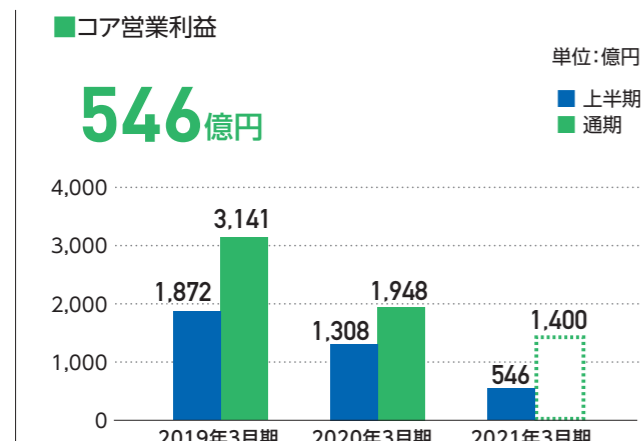
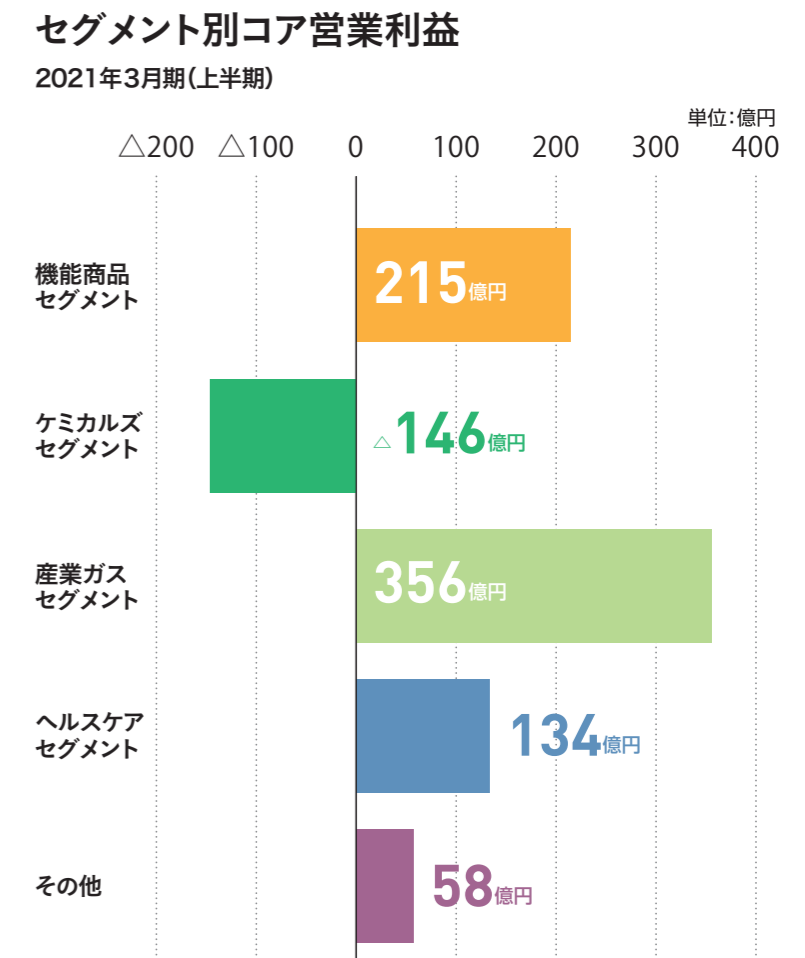
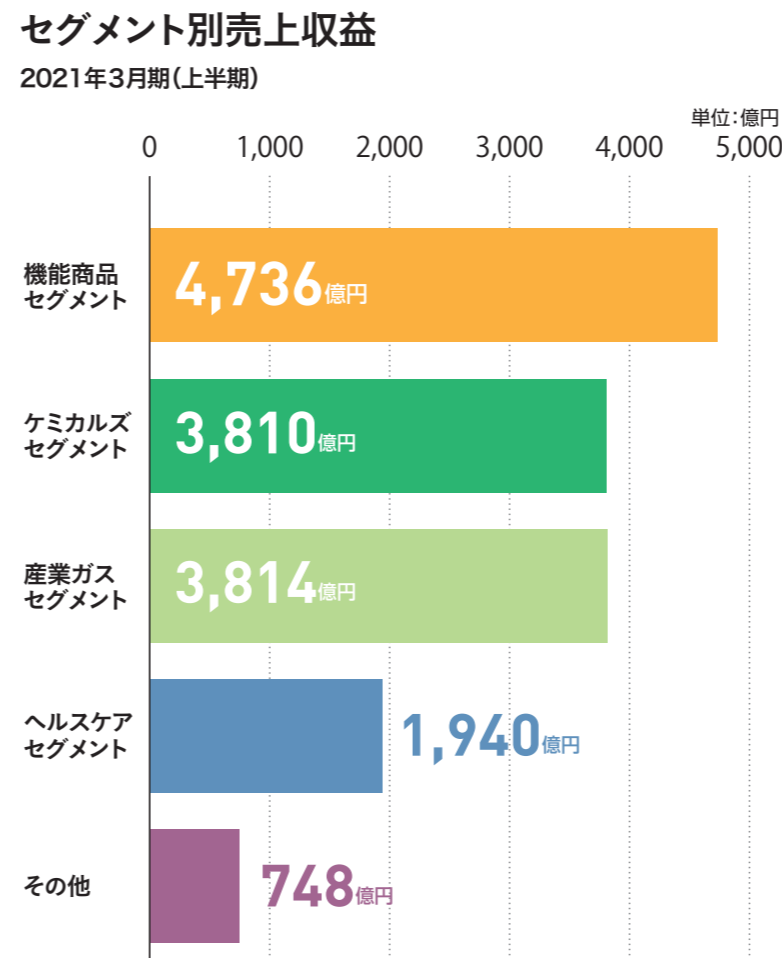
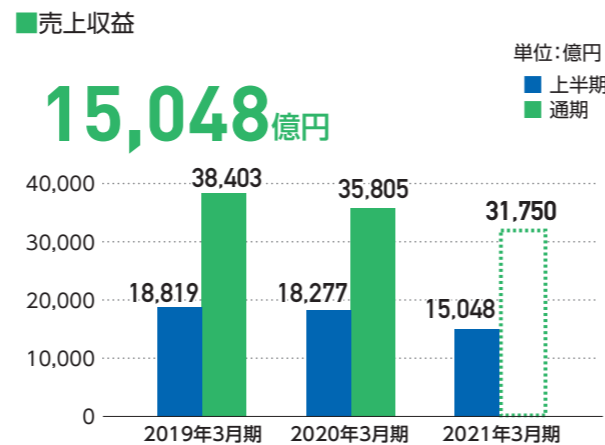


T O P M E S S A G E

連結業績の概要

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況が継続

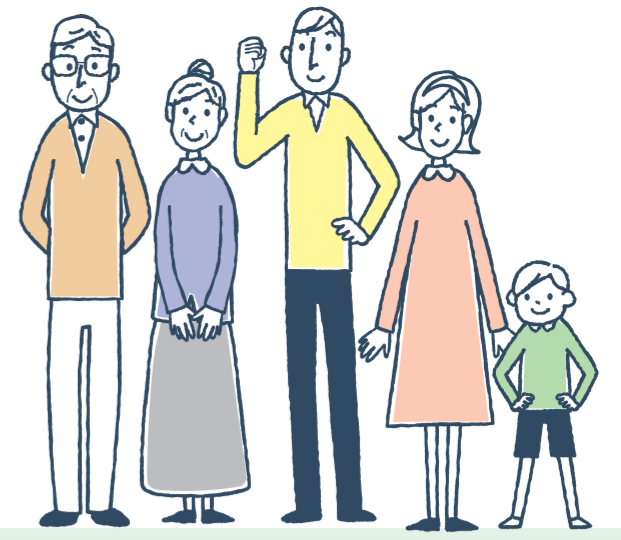
- ・足元で持ち直しの動きがみられるものの、自動車用途を中心に需要が低調に推移
- ・ヘルスケア分野に関連する減損損失等を計上



※コア営業利益とは、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いた経常的な利益のことです。
 ※2019年3月期及び2020年3月期の売上収益及びコア営業利益は、非継続事業に係る数値を控除しております。

こんなところで人々の健康に貢献 三菱ケミカルホールディングスグループ

当社グループは、世界の人々が長く健康でいられる社会、いきいきと暮らせる社会の実現に向けて、様々な事業を展開しています。今回は、このような社会の実現に向けた当社グループの製品や取り組みをご紹介します。



ワクチンで「人」と「社会」の健康を守る

● COVID-19 のワクチン開発

田辺三菱製薬株式会社の子会社であるMedicago Inc.は、新型コロナウイルス感染症に対する植物由来VLPワクチンの第1相臨床試験を終了し、後期臨床試験を推進しています。喫緊の社会課題である新型コロナウイルスの感染予防に貢献していきます。

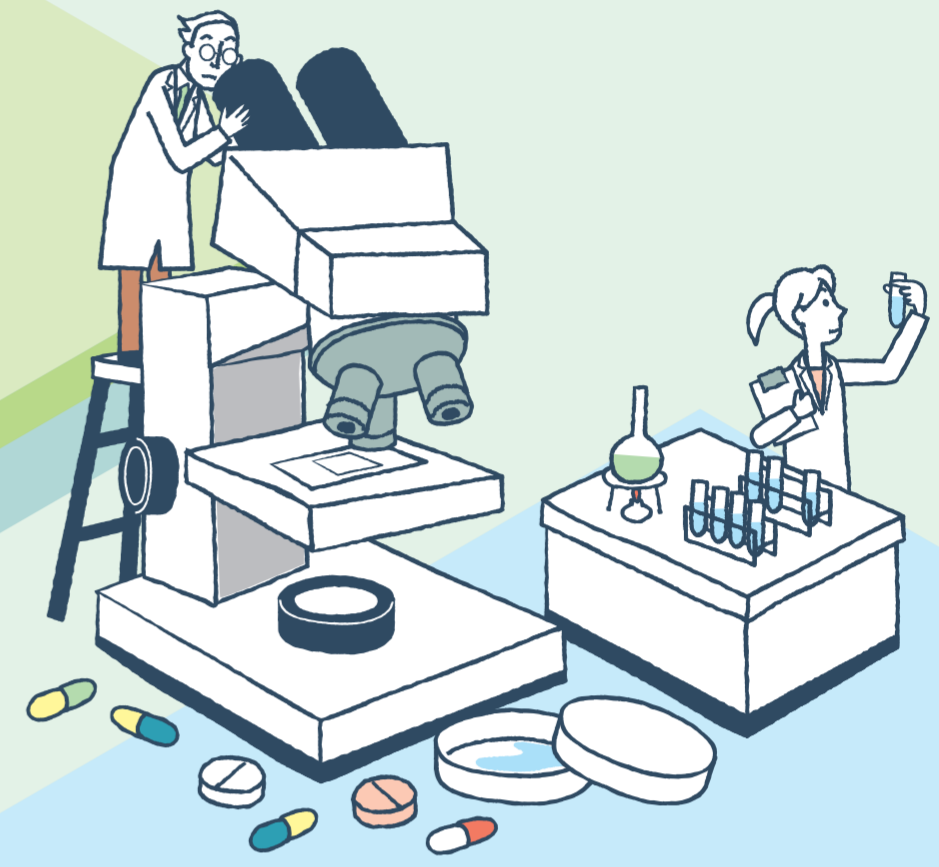
● インフルエンザワクチン

ワクチン製造の合弁会社である株BIKENを設立し、供給拡大が求められるワクチンの生産基盤強化を進めており、さらなる安定供給に貢献していきます。



感染症が猛威をふるっていますね…

感染症予防



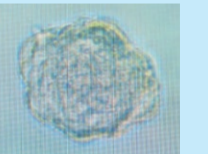
医療進化

最先端の医療技術やサービスに興味があります！

イノベーションの創出

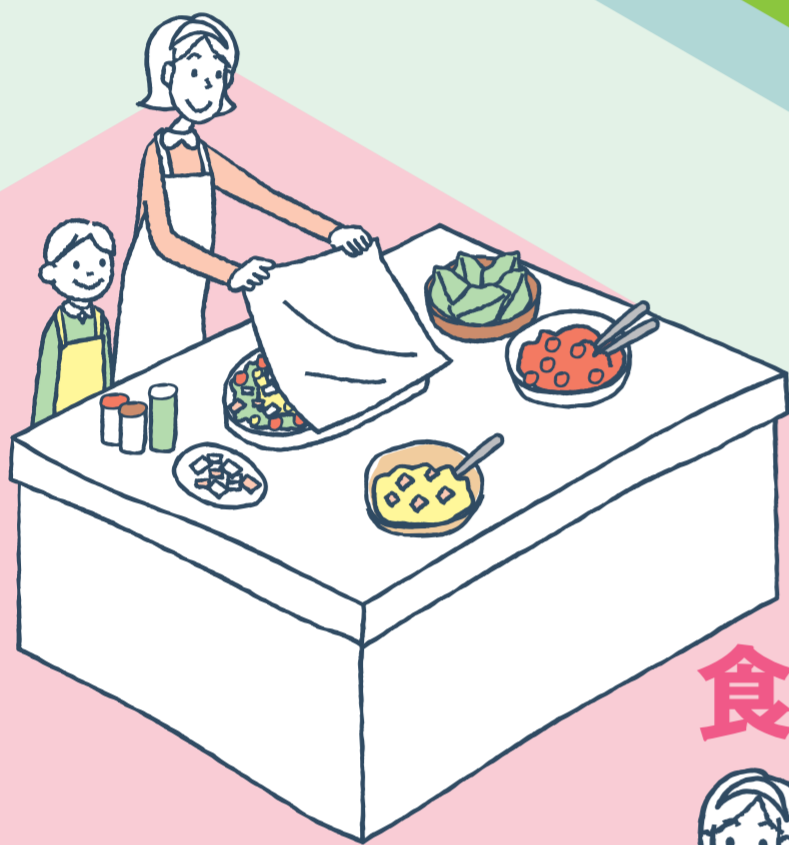
● Muse 細胞

生体内に存在する非腫瘍性の多能性幹細胞です。様々な細胞に分化する能力を有し、静脈内投与により傷害部位に遊走・生着し、組織に応じた細胞に自発的に分化して組織・機能を修復する特徴があります。急性心筋梗塞や脳梗塞をはじめとした各種疾患の臨床試験を進めています。



● プレジジョンメディシンの推進

遺伝子、環境、ライフスタイルといった個人の違いを考慮して、予防や治療法を確立する医療のことです。個々に合った精密な治療法を選択することで、高い効果が得られたり、副作用などのリスクを回避するなど個人に合った治療法の選択を可能にしています。



食品素材

家族の食事には気をつけています。

食事は健康の基礎となるもの

● エリスリトール

発酵食品に含まれる糖質であり、日本ではエネルギー値を0kcalと表記することが認められています。また、虫歯の原因となる酸を作らないという特長もあります。健康志向の高まりから、食品や清涼飲料、お菓子などに幅広く使われています。



● ワサオーロ™

ワサビやカラシなどに含まれるアリルイソチオシアネートを主成分とした抗菌・防カビ鮮度保持剤です。ワサオーロ™の有効成分を含ませたシートをお弁当などの食べ物の上に置いてフタをすることで、食中毒菌の増殖抑制に大きく効果を発揮します。



医療とデジタル

生活習慣病の予防や治療がますます重要になってきたと感じています。

予防から治療におけるデジタルの活用

● 糖尿病ケアアプリ

株ハピタスクアとともに糖尿病ケアアプリ「TOMOCO」を開発しました。専門医や管理栄養士のノウハウが搭載されており、効果的・効率的に行動変容のための助言を受けることができ、重症化への予防を支援します。

● うつ病治療用アプリ

スマートフォン用アプリケーション「こころアプリ」(*)について、日本初のうつ病治療用医療機器アプリとしての製造販売承認の取得をめざしています。

(*) 京都大学と国立精神・神経医療研究センターが開発したもので、田辺三菱製薬は臨床開発及び販売に関するライセンス契約を締結しています。



KAITEKI ぴっくあっぷ

当社グループが、人、社会、そして地球の持続的発展への貢献をめざして提唱している「KAITEKI」。「KAITEKI ぴっくあっぷ」と名付けたこのコーナーでは、KAITEKIのもとで推進している様々な活動をご紹介します。

● 中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30」

「未来はどんな姿だろうか？」

「持続可能な未来のためになにができるだろうか？」

「10年先は変えられる。もっと先の未来を描くことができたなら」

このような想いから、「現在の社会課題がすべて解決された社会」、具体的には「様々な資源が循環し食や水のリスクからも解放された社会、デジタルで繋がりがスマート化が進んだ社会、すべての人が健康でいきいき

と暮らせる社会」を2050年に実現するために、2030年の当社グループがめざす姿を決めました。そこに至るための中長期経営基本戦略が、「KAITEKI Vision 30 (KV30)」です。KV30においては、解決すべき社会課題を特定し、当社グループの価値基準として定めている「Sustainability, Health, Comfort」をもとに、「GHG低減、炭素循環、食糧・水供給、医療進化、人快適化、デジタル社会基盤」の6つを事業領域として特定しました。産業構造や事業環境が劇的に変化の中で、当社グループがステークホルダーの皆様とともに成長し続けていくために、2030年のめざす姿を実現していきます。

「KV30 ステートメント映像」を作成しました。ぜひご覧ください。



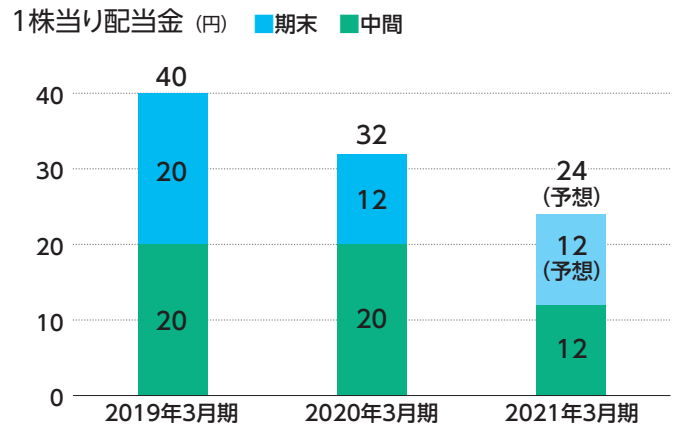
株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
※その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
- 公告の方法 電子公告
※ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
◎公告掲載URL (https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/ir/index.html)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先及びお問い合わせ先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 6,000,000,000株
発行済株式総数 1,506,288,107株
株主数 275,998名

配当の状況



単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主様へ

単元未満株式(1株~99株)とは

当社の売買単位である1単元(100株)に満たない株式のことをいいます。単元未満株式(1株~99株)については、証券市場で売買することはできません。

単元株式	単元未満株式
 <p>株主総会で議決権を行使できます。 証券市場で売買できます。</p>	 <p>株主総会で議決権を行使できません。 証券市場で売買できません。</p>

単元未満株式をお持ちの株主様は、市場価格で、単元株式(100株)にするために必要な株数を当社からご購入(買増制度)または単元未満株式を当社に対しご売却(買取制度)いただくことができます。

(例) 40株をご所有の場合

買増制度	買取制度
60株を、当社から市場価格でご購入いただけます。	当社が、40株を市場価格で買い取らせていただきます。

買増制度・買取制度のご利用方法

証券会社の口座でお持ちの株式については、お取引先の証券会社でお手続きください。また、特別口座でお持ちの株式については、当社の特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。

特別口座の口座管理機関及び連絡先

- 口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 連絡先** 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 **0120-232-711** (通話料無料)

※特別口座に株式をお持ちの株主様が、株式を売買される場合は、あらかじめ特別口座から証券会社の口座への振り替えが必要となりますので、ご注意ください。



当社ホームページをご活用ください
<https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>

当社ホームページでは、プレスリリースや中期経営計画、決算情報等を掲載しております。

三菱ケミカルホールディングス



携帯電話やスマートフォンなどから、QRコードを読み取ってアクセスすることもできます。